

ユーザ企業
向け

損しないロボット導入 検討方法を伝授します

——産業用ロボットシステム導入研修——

生産性向上や人手不足解消を目的に生産工程の自動化・効率化に取り組みたいと思っても、「どこから手を付けて良いかわからない」「費用対効果が得られるか不安」そんなお悩みを解消するための研修です。ロボット導入実績が豊富なシステムインテグレータ（SIer）から、自動化の勘所、課題の整理方法を学び、SIerに依頼する際の提案依頼書を作成する実践的ワークショップを行います。

日時 令和4年8月25日(木), 26日(金)

午前9時30分から午後4時30分まで

場所 機械素材研究所 (米子市日下1247)



内容

(1日目)

ロボット導入を円滑に進めるための知識習得を中心に行います。

- ロボットシステム導入のための基礎知識 (生産技術、品質、コスト等)
- 導入企業の皆様に保有してほしい能力 (付加価値分析、品質七つ道具、IE技術他)
- ロボット導入のステップ
- 要件確認書の作成方法
- 導入時の落とし穴

(2日目)

実際の導入事例に学ぶ成功と失敗、ワークショップ (要件確認書の作成検討)

- ロボット導入の失敗事例とその背景
- ヒアリング能力・ヒアリングの仕方
- 要件確認書の作成検討 (実習)
自動化したい作業のビデオ映像を見た上で、要件確認書を作成
→講師をその企業の経営者として仮定し、皆様からいろいろとヒアリングを受けていきます。
- ロボット導入時のチェックシート

講師

ものづくりテラス

代表

林 芳樹 (ハヤシ ヨシキ) 氏

民間企業でシステムエンジニアとして、通信制御システムの開発や製造支援システム等の構築など生産革新を推進。現在は独立し、企業のしくみづくり、従業員の意識改革等を支援。

対象者

- ・ロボット導入を検討中の方
- ・生産管理や生産技術等の業務担当者の方
- ・自動化設備の発注担当の方等

受講料・定員

- ・受講料 4,000円 (税込)
- ・定員 10名

[申込方法] 申込期限8月19日(金)

センターホームページの申込フォームをご利用ください。

鳥取県産業技術センター 研修 検索

こちらのQRコードから ⇒



用語説明

付加価値分析

各工程や作業を洗い出し、付加価値作業・非付加価値作業・ムダの3つに分類し作業内容の見直しを行うための分析方法。

品質七つ道具

パレート図、特性要因図、グラフ、管理図、チェックシート、ヒストグラム、散布図の7つの分析ツールを目的に合わせて活用し、品質改善を行う手法。

IE技術

IEとはIndustrial Engineeringの略で、工程管理技術の一つ。予算から原価管理、生産技術の開発や効率化など、経営上のさまざまな問題を工学的な手法にもとづいて合理的に推し進めていくことで、生産管理を最適化する手法。

要件確認書

自動機やロボットの導入目的やねらい、導入要件、導入環境、運用体制等をまとめ、Sier企業と情報共有するための書類。

センターからのお知らせ

■とっとりロボットハブをご活用ください！

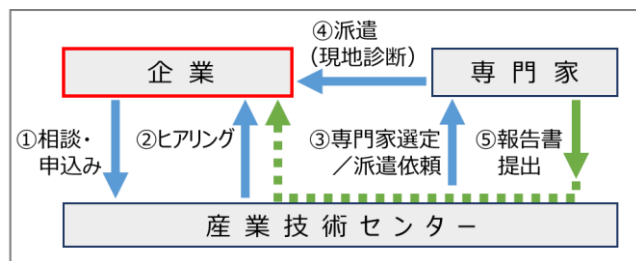
当センターでは、県内企業のAI・IoT・ロボット技術等の積極的な導入・活用の促進を目的として、「AI・IoT・ロボット実装支援拠点」（通称：“とっとりロボットハブ”）を活用した人材育成・導入支援の活動を行っています。

とっとりロボットハブでの事前検証のほか、持ち運び可能なロボットによる自社の生産ラインでの事前検証にもご活用いただけます。



■ロボット導入・工程自動化の専門家を派遣します

生産性向上に取り組む企業に、工程改善やロボット技術の専門家を派遣し、ロボット等の生産効率化機器の導入を支援する活動も行っております。



- 費用：無料
- 回数：原則1社につき1回
- 申込期間：令和5年2月末まで



お問い合わせ先	
とっとりロボットハブ	機械素材研究所 担当：吉田（裕）、新見 TEL：(0859)37-1811（代表）
専門家派遣	電子・有機素材研究所 担当：吉田（大） TEL：(0857)38-6200（代表）